

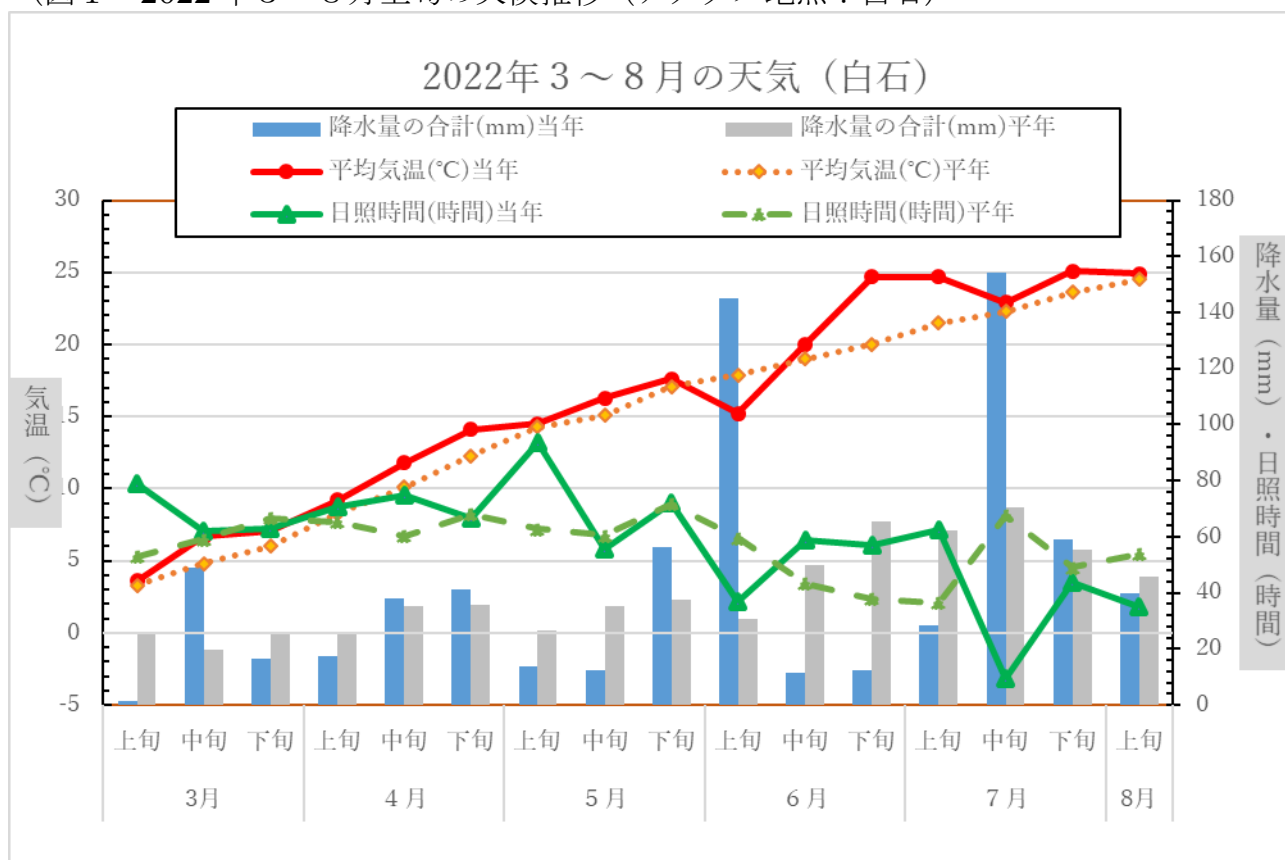
令和4年産 果樹情報（第5号）

令和4年8月18日
宮城県大河原農業改良普及センター

1 気象経過

アメダス白石の7月～8月上旬は、いずれも平均気温が平年並からやや高く推移しました。降水量は7月13～15日の雨による影響で7月中旬の平年値を217%上回りました。7月下旬，8月上旬は平年並となっています。日照時間は7月上旬を除き，平年を下回っています（図1）。

（図1 2022年3～8月上旬の天候推移（アメダス地点：白石）



2 果樹作況調査ほの果実肥大状況

りんごは白石・郡山のふじで平年より小さめ，なしは角田・豊室の幸水と豊水で平年より大きい状況です（表1）。

表1 8月10日現在のりんご・なしの果実肥大状況（単位：mm）

樹種	地点	品種	令和4年		令和3年		平年値		平年比(%)	
			縦径	横径	縦径	横径	縦径	横径	縦径	横径
りんご	白石・郡山	ふじ	60.7	64.4	63.2	68.4	62.2	67.4	98	96
		なし	69.5	84.6	72.1	88.1	60.6	73.1	115	116
なし	角田・豊室	幸水	63.8	71.9	70.0	81.0	60.2	68.9	106	104
		蔵王・高木	59.7	69.6	62.9	74.8	59.2	70.9	101	98
		豊水	59.1	67.1	65.3	76.0	56.7	64.1	104	105

* 令和3年のなし，蔵王・高木のデータは参考値として掲載

3 樹種ごとの管理

(1) りんご

7月中旬から8月上旬の高温の影響ですでに日焼け果が発生しています。葉摘み等の管理は、注意が必要です。

イ 早生品種の葉摘み

- ・葉摘みはおおよそ収穫14日～7日前までに2回実施し、1回目は果実に直接ついた果そう葉、2回目は果実周囲の葉を除去します。

※早期の葉摘みや、果実温度が上がっていない早朝に葉摘みを行うと日焼けを起こしやすいので、出来るだけ果実温度が上がった日中に実施します。

ロ 中晩生品種の修正摘果

- ・果実肥大や果形の差、障害果などが区別できる時期なので、小玉果、変形果、病害虫被害果、さび果は取り除きます。

ハ 病害虫防除

・斑点落葉病、褐斑病、炭そ病

重要防除時期なので降雨前に、十分な散布量を確保し、ムラのないように散布します。炭そ病の発生が見られますので、9月上旬以降も防除が必要です。

・ハダニ類

高温・乾燥が続くと発生量が急増するので、1葉あたり3頭確認されたら殺ダニ剤を散布します。除草作業と殺ダニ剤の散布日が近接する場合は、除草作業の数日後に殺ダニ剤を散布します。

・モモシンクイガ

7月～9月まで発生が続くので、定期的に防除します。

(2) 日本なし

イ 幸水、豊水の収穫

- ・熟期は、短果枝の果実は早く、長果枝の果実はやや遅い傾向があります。
- ・幸水は果皮色の進み具合に比べ、果肉熟度の進展が早いので、過熟果とならないよう適期収穫に努めます。
- ・豊水は適熟期の収穫に努め、同一樹でも主幹から2m以内の果実は熟期が遅れるので、数回に分けて収穫します。ただし、過熟果は市場へ出荷できないので、収穫遅れのないよう注意します。
- ・収穫時の果実温度が高いと果肉軟化が促進され、芯腐れ果が発生しやすくなります。できる限り気温の低い時間帯に行い、収穫後は果実温度が上がらないよう速やかに涼しい場所に移し、保管します。

ロ 病害虫防除

・黒星病

黒星病の発生が各園地で確認されています。発病した果実は二次伝染源となるので見つけしだい取り除き、ほ場に放置せず地中に埋めるなど適切に処分します。また、収穫後に秋季防除を行います。

・ハダニ類

今年はダニの発生は例年に比べて多いようです。高温・乾燥が続くと発生量が急増するので、発生が確認されたら殺ダニ剤を散布します。除草作業と殺ダニ剤の散布日が近接する場合は、除草作業の数日後に殺ダニ剤を散布します。

・ナシヒメシンクイ

例年9月上旬が発生のピークになりますので、8月下旬が防除適期になります。例年果実被害の多い園地では農薬使用基準（収穫前日数、使用回数）に注意して薬剤防除を実施します。

(3) もも

イ 晩生品種の収穫

- ・収穫前に降雨が多い場合や核に障害のある果実は果肉の成熟が早まる傾向があるので、果肉の軟化に注意し、収穫が遅れないように注意します。

ロ 病害防除

・せん孔細菌病

発生園地では、収穫後の9月上旬から薬剤散布を2週間隔で計3回行います。

(4) 各樹種共通事項

・果樹カメムシ類：チャバネアオカメムシ、クサギカメムシ

宮城県病害虫防除所より果樹カメムシ類による被害果が多く確認されており、注意報が出されております。園地内をこまめに見回り、早期発見に努め、カメムシ類の飛来が見られる場合は速やかに防除を行います。

● りんごのカメムシ類で登録のある薬剤 (『令和4年度宮城県農作物病害虫・雑草防除指針』より)		● なしのカメムシ類で登録のある薬剤 (『令和4年度宮城県農作物病害虫・雑草防除指針』より)	
IRACコード	薬剤名	IRACコード	薬剤名
1B	サイアノックス水和剤、スプラサイド水和剤、 スミチオン水和剤40	1B	スミチオン乳剤、スミチオン水和剤40
2B	キラップフロアブル	3A	テルスター水和剤、サイハロン水和剤
3A	MR.ジョーカー水和剤、スカウトフロアブル、 テルスターフロアブル	4A	アドマイヤー水和剤、アドマイヤー顆粒水和剤、 アルバリン顆粒水溶剤、スタークル顆粒水溶剤、 モスピラン顆粒水溶剤
4A	アクタラ顆粒水溶剤、アルバリン顆粒水溶剤、 スタークル顆粒水溶剤、ダントツ水溶剤、 バリアード顆粒水和剤、モスピラン顆粒水溶剤	28	テッパン液剤
28	テッパン液剤		

※令和4年7月20日現在の登録内容
(IRACコードは、殺虫剤の作用機構分類を表す)

農薬危害防止運動実施中！（6月1日から8月31日まで）

自然災害等のリスクに備え、農業保険に加入しましょう。

農業経営には、自然災害による収量減少や市場価格の下落をはじめ、様々なリスクがあります。

農林水産省では、収入保険と農業共済の2つの保険（農業保険）を用意しています。農業保険は公的保険であり、保険料の一部は国が補助します。また、万一の大災害時にも国の再保険でしっかり補償します。